

かける五

平田 つぶら

「ラジオ体そうカード早くとってこい。」

「今すぐ虫カゴとセミとりあみもってきて。」

今日もまためいれいれです。私は5人兄弟の末っ子なので、姉ちゃん兄ちゃんたちに、毎日いろいろたのまれます。おしつけられていやな気もちになり、たまに泣くこともあります。一つの子どもべやを皆でつかうため、せまくてうるさいし、トイレはじゅんばん、お風呂だつてゆっくり入れません。ねむっている時はねぞうがわるい人にふまれたり、けられたりします。共ばたらきでかぞくがたくさんいると、お手伝いは分担しないと大へんです。一人がさぼると皆にめいわくをかけるので、責にん重大だし、やくそくや時間を守ることは当り前で、ケンカもがまんが多いです。だから何もしないでいい、何でも買ってもらえる一人っ子はいいなーってずっと思っていました。でも、この前アルバムで私の赤ちゃんのころのしゃしんを見ました。姉ちゃんや兄ちゃんたちにだっこさされてる私、あそんだり、ごはんを食べさせてもらっているのもあります。皆楽しそうにわらっているし、私もうれしそうです。ぜんぜんおぼえていないけど、大じにされているのが伝わりました。ふくはお下がりがかりだけど、私のおきに入りのき地で、お母

さんはほう子やカバンを作ってくれます。お父さんはしゆくだいを教えてくれるし、姉ちゃんは毎週末に私のくつと上ばきをきれいに洗ってくれます。兄ちゃんたちも米洗いや洗たくほし当番を手伝ってくれるし、私がインフルエンザになった時、

「おれたちにうつすなよ。」

って言いながらも、そばで本を読んでもくれたり、食べたいプリンを買ってきてくれました。本当は皆、私のことが好きなのかもしれません。私は一人っ子にあこがれていたけど、一人っ子は全ぶ一人ですからもつと大へんです。でも、私は協力やたすけ合うことができる兄弟がいるので、もしかしたら楽しんでるのかもって考えるようになりました。お父さんお母さんはよく、

「子どもは宝」

と言ひ、私たちが大切に財さんだそうです。そんなに言われると、あたたかいきもちになつてうれしさがあふれます。きのう、かけ算をならいました。かける五は五倍のこと、いいこともわるいことも五倍になる私たち兄弟。かぞくでも言わないと伝わらなかつたり、ゆずり合わないときづつけることもあります。だけど、だれかに何かあつたら皆で知えを出してかひつけします。むずかしいとか困つたことは、わらつて吹きとばすたくましきもあります。全ぶ五倍。私はそんなかぞくが大好きです。それはとてもさいこうにしあわせなことです。めいれいされるのはやっばりいやだけど、ちよつとのおねがいならきいてもいいかな・・・。